

【施設状況】

グループ名称	地域活動支援センターこがし								
指定管理者名	社会福祉法人長野県社会福祉事業団					法人番号	1100005001692		
所管課	主	102000	障害福祉課	副					
構成施設	5695	地域活動支援センターこがし							
施設分類	05	保健福祉・医療型		施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	01	代行制
施設概要	作業室、事務室、トイレ								
施設設置目的	障害のある人が地域において自立した日常生活、社会生活を営むことができるよう、施設において創作活動、生産活動の機会の提供を行うとともに、社会との交流の促進を図ることを目的とする。								
基本方針等	<ul style="list-style-type: none"> 利用者又は障害児の保護者の意思及び人格を尊重して、常に利用者等の立場に立ったサービスの提供に努める。 地域及び家庭との結び付きを重視した運営を行い、市、障害福祉サービス事業を行う者、その他の保健医療サービス又は福祉サービスを提供する者等との連携に努めるとともに、指定管理者の創意工夫に基づいた管理運営により、質の高いサービスを利用者に提供していく。 								
主な実施事業	・地域活動支援センター事業								

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	<ul style="list-style-type: none"> ・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	<ul style="list-style-type: none"> ・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	社会福祉法人長野県社会福祉事業団			指定回数	2 回	
指定期間	平成29年4月1日	～	令和4年3月31日	5年	管理運営開始日	平成24年4月1日
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)					3

2 施設の有効活用

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)		利用区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比	評価
		利用者数	人/年	3,413	3,147	2,186	1,833	84%	3
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
		(特記事項) 利用定員 15 人 登録人数(R3.3.31) 13 人 *利用者数(人/日 7.7人)							
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> 支援法第77条第1項第9号に規定する地域活動支援センターの実施に関する業務 施設及び設備の維持管理に関する業務 グループ活動、創作活動、レクリエーション活動、余暇活動 							
	自主事業								
サービス維持・向上の取組み(広報等)		<ul style="list-style-type: none"> 市包括支援センター支援専門員、歩楽里の相談支援専門員により、個々のケースについて日常的な支援方法を話し合っている(定期でなく必要に応じて機会を設けている)。 広報誌「こぶしだより」を発行する予定だったが、新型コロナウイルス感染防止対策や利用者支援に重点を置いたため作成する時間がなく、発行できなかった。 前期(水内荘)GH利用者の一斉送迎、後期(復帰後):雨天や降雪時の送迎代行 							

3 利用者評価

利用者評価		区分	内容	評価
利用者評価	利用者要望把握		(1) 利用者要望把握方法 その他	4
			(2) 調査、会議等の内容 <ul style="list-style-type: none"> 連絡帳を活用し、日々の要望や意見(考え・気持ち含む)を把握している。 満足度調査を実施したが、母数が小さいため参考程度に留め利用者一人一人と面談して直接話を聞いた。 	
			(3) 調査、会議等の結果 1. 日中活動について (1) 作業について: とても満足30%まあ満足30%どちらともいえない40%不満0% (2) ミニカルチャーについて: 興味を持って取り組めた42.5%興味を持てなかった12.5%難しかった5%分からない(不参加)40% (3) お楽しみ会について: とても楽しかった37.5%楽しかった42.5%ふつう25%つまらなかった5%不参加32.5% 2. 支援について (1) 支援員の対応: とても満足40%まあ満足40%どちらとも言えない20%不満0% (2) 支援員への質問・相談: できる40%まあできる20%どちらとも言えない20%できない20%;説明の仕方: とても分かり易い20%分かり易い60%時々分かりにくい10%分かりにくい10% (3) 連絡帳等での発信: とても良く分かる30%良く分かる50%あまり分からない0%分からない0%未回答20% 3. こぶしの利用について 通いたい80%(理由)こぶしに満足63%他の選択肢がない0%慣れていない37% どちらとも言えない20%(理由)もっと稼ぎたい0%家でゆっくりしたい100%こぶしに不満0%	
	利用者からの評価・要望・苦情等		(1) 良好とする評価 <ul style="list-style-type: none"> 作業について: ボルトの仕事が楽しい ミニカルチャーについて: 楽しかった。他の作品も作ってみたい。 お楽しみ会について: ボウリング外出がとても楽しかった。お楽しみ会はどれも楽しいので積極的に参加したい。 支援について: 色々な企画を考えてくれて嬉しい。散歩に連れて行ってきてくれてありがとう。雨の日に家まで送ってもらえてよかった。 発信について: 連絡帳で様子がよく伝わってくる。利用者のありのままを伝えてもらえて有難い。連絡帳のやり取りでホームとこぶしで対応が統一できる。 	
		(2) 苦情・改善等の要望事項 <ul style="list-style-type: none"> 作業について: もっと仕事が欲しい。 ミニカルチャーについて: フラワーアレンジメント難しかった。カラオケは好きではない。自分はもう歳なのでいろいろやらなくていい。 支援について: うるさい利用者にはもっと厳しく注意してほしい。 		
			<<対応措置>> <ul style="list-style-type: none"> 靴下作業に関しては、従来から取引のある会社からの受注がコロナの関係で激減したため利用者に仕事増は望めないことを説明した。新規でさのこキャップやボルト作業を導入した。 余暇活動について、利用者の高齢化・被災以降の体力低下により従来出来ていたことが出来なくなっており、日々退行が進んでいる観がある。そのため、毎日運動の時間を設け体力維持に努めたり意欲を引き出すため利用者の興味を持ってそうな様々な活動を提示し続けた。 他利用者との関係について、どうしても相性の悪い人もいるので席順を工夫したり、職員が間に入って仲裁する等トラブルを未然に防ぐようにした。「もっと厳しく」に関しては、お互いさまの面もあることを話し、納得していただいた。 	

4 事業収支

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和2年度)				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		令和2年度決算		令和元年度決算(前年度)		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
収入	利用料金		利用料金		使用料		使用料		3
	指定管理料	8,885,000	指定管理料	8,885,000	雑(納付金)		雑(納付金)		
支出	委託料		委託料		行政財産目的外使用料		行政財産目的外使用料		3
	販売収入等	913,000	販売収入等	243,758	貸付料		貸付料		
	その他収入		その他収入	94,029	その他		その他		
	計	9,798,000	計	9,222,787	計	0	計	0	
収入	人件費	7,549,000	人件費	7,543,580	指定管理料	8,885,000	指定管理料	8,583,000	3
	設備管理費	72,000	設備管理費	71,005	委託料		委託料		
支出	備品購入費		備品購入費		需用費		需用費		3
	修繕費		修繕費		役務費		役務費		
	光熱水費	65,000	光熱水費	64,141	使用料・賃借料		使用料・賃借料		
	事業費	441,000	事業費	438,517	修繕費		修繕費	265,140	
	事務経費	545,000	事務経費	535,193	工事請負費		工事請負費		
	本社経費		本社経費		備品購入費	72,600	備品購入費		
	その他		その他		その他		その他		
	工賃支払	822,000	工賃支払	243,758	電気料金	100,266	電気料金	112,550	
	計	9,494,000	計	8,896,194	計	9,057,866	計	8,960,690	
自主事業	収入		収入						
	支出		支出						
	自主事業損益	0	自主事業損益	0					
損益		304,000		326,593	差引	-9,057,866		-8,960,690	
人件費比率【人件費(賃金等)／令和2年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)								84.8%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

5 管理運営全般 ※すべて で、「3」、「4」、「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	4
	配置実績 (うち市内雇用職員数) 所長(非常勤)1人(1)、 経理担当(非常勤)1人(0)、 指導員(常勤)2人(2)・(非常勤)1人(0)		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	4
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		
経理	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	4
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	4
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に行われたか		
セルフモニタリング等	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	4
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	4

6 危機管理体制

※ すべて☑で、「3」。1か所でも空欄の場合は「1」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☑	3	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	1 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切であったか	☑		
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		☑
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☑		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	評価
	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。		3
	協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	
	・利用者の弁当は市内障害者就労施設、おやつや事務用品等の購入物品は市内業者にて調達	(未実施) 地域の各種行事への参加は、新型コロナウイルス流行により中止	

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価	
指定管理者の健全性	3	6	合計得点 68	
施設の有効活用	3	6		
利用者評価	4	16		
事業収支	3	6		
管理運営全般	4	16		
危機管理体制	3	12		
地域連携	3	6		
評価理由	<p>施設の目的及び基本方針に沿った運営を行っており、苦情や事故もなく、利用者に対して日々の考察が実施されており、利用者の立場にたった安定したサービスが提供されている。令和元年東日本台風災害により、「こがし」が所在していた複合施設が被災したため、通常の事業が実施ができなくなったが、法人内で連携し、「水内荘」内で活動を再開し、サービスの提供に努力した。通所が困難な利用者には送迎を実施した。また、長年の利用者を台風をきっかけに就労系の事業所に移行させることができた。複合施設復旧後は、新型コロナウイルス感染症の影響にあり生産活動も厳しい状況であるが、新たな作業の開拓を行うなど工夫して対応している。</p> <p>利用者アンケートを実施し、利用者、保護者等から良好な評価を得ており、集計結果を日々の業務に反映させ、今後の事業実施へ生かしているため、3 利用者評価を「4」とした。</p> <p>上記台風による施設の被災や新型コロナウイルス感染症への対応について、施設利用者に十分配慮した措置を講じてきたことから、5 管理運営全般を「4」とした。</p>			
取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)	
	①新たな利用者の掘り起こし等、利用増に向けた取り組み ②新型コロナウイルス感染拡大防止に対する取り組み	②パーテーション及び手指消毒用アルコール噴霧器・空気清浄機の設置・毎日の作業室等の消毒等、徹底した感染予防に努めた。	①被災後の活動場所の変更(R2.8まで)及び新型コロナウイルス感染対策として密を避けるため、新たな利用者を募集は取ってしなかつた。	
次年度の目標・取組み等 (施設所管課)	利用者の高齢化が進み、高齢者福祉サービスへ移行したり健康的な理由で利用停止となる人が毎年一定数出てくるため、新たな利用者の掘り起こしが引き続き課題となる。利用定員を満たすために、特に若年層の利用者増に向けた取り組みを継続的に実施する。			

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

・4～8月…前年度後半に引き続き、水内荘敷地内での活動となった。活動場所が限られるためグループ活動に関しては、場所を分けての実施は出来なかったが、同じ空間内でも活動内容を変える等工夫した。また、水内荘体育館での運動や近くの公園への散歩等、立地を活かした活動を行うことが出来、利用者にも好評であった。毎日のウォーキングの習慣も、水内荘生活介護の利用者と一緒に行うことで自然と身についた。老福センターで使用していたカラオケ機器を運び入れたり、水内荘にあるレクリエーション用具を借りる等して、充実した余暇活動を提供することが出来た。また、大型の公用車も借りやすくなり、外出の機会が増えて利用者の満足度アップに繋がった。

・9月～3月…老人福祉センターが復旧し戻ることが出来たため、設備を活用した活動を実施した。具体的には、調理活動・レクスポ・墨あそび等で、こびし作業室では出来なかった活動を再開することが出来、利用者にも概ね好評であった。新型コロナウイルス感染症の警戒レベルが目まぐるしく変化し、様々な制限がされる中でも利用者が出来ること・楽しめることを模索・工夫して活動を提供した結果、高評価を得ることが出来た。

② 業務の効率化に対する取組み

・職員募集は継続して行ったが応募が無かった。そのため、広報誌発行等の事務仕事は出来るだけ省いて利用者支援に重点を置いた。また、職員が不足する場面では、随時水内荘に応援を要請して支援に当たった。

③ その他

・令和元年に作成した「洪水時の避難確保計画」を見直し、それに沿った防災訓練(避難訓練)を実施したところ、計画の避難場所では高齢化・重度化が進んでいる利用者にとって無理があったため、より利用者の実態に合わせた避難計画に修正した。

(2) 指定管理者業務実施上の課題

・かがやきひろば豊野が復旧し、従前の活動が出来るようになった反面、新型コロナウイルス流行により活動に制限のかかる事態となり予定していた利用者増への取組みが出来なかった。

(3) 総合評価

評価基準

【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり
【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者
自己総合評価

C

① 評価理由

前年度に続き新型コロナウイルスの流行による影響は大きかったが、創意工夫により当初の計画や目標を達成できたと自負している。

② 次年度以降の取組み

新型コロナウイルスの流行終息後も「新しい生活様式」に則った事業を展開していく。